木材の大敵 シロアリをぼく滅しよう

〈生態〉ハネアリの群飛に要注意　〈防除〉

木造建て物など木材の大敵とされているシロアリの被害が最近目だってふえております。原因は住宅の建て方が、県内に発生しているはずやマトシロアリとして建て物の下部構造などの多湿部位を食害し建て物の耐用年数を著しく縮めています。

シロアリ対策で最も大切なことは、建て物などの新築発のさい、あらかじめ薬剤で防除しておくことが大切ですが、これからのシロアリ被害をできるだけ少なくするために「シロアリの生態と防除」についてお知らせします。

※シロアリの社会は、整然とした分業が行なわれ数万～数十万のシロアリが秩序ある社会生活を営んでおり、その生態は女王、兵蟻、職蟻など、大部分が職蟻というシロアリです。

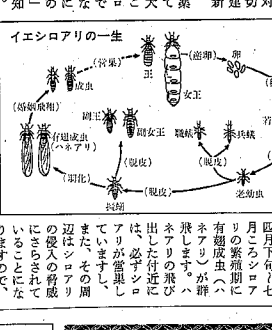
※シロアリ発見の目やすとしては、シロアリの被害を受けやすい場所を知ることです。被害の起こりやすい場所は、比較的日当たりの悪い、湿気の多い、しかも割り合いに暖かな所です。建て物であれば風呂場、台所、洗面所、便所、雨もれした個所または床下などに木片が埋まっていたりする食害し、家屋に侵入します。

※シロアリは四月下旬～七月ころシロアリの繁殖期にハネアリが群飛します。ハネアリの飛び出した付近には、必ずシロアリが営巣しています。また、その周辺はシロアリの侵入の脅威にさらされています。

仮りに現在被害がなくとも予防処置をとることが必要です。

※予防薬剤はアリランチ（油剤）、リデン（乳剤）、アリコロシ（乳剤）などがあり、ほかに殺虫剤、殺菌剤、塗布法、吹き付け法、穿孔法、土壌法などがあります。なお、くわしくは市環境衛生課へおたずねください。

イエシロアリの一生



福祉年金　支給制限に大幅緩和

年金法の一部が改正

福祉年金とは、国民年金に加入できない高齢者（明治四十四年四月一日以前に生まれた人）が満七十歳になったとき、または七十歳を経過していない人で、身体障害の人および国民年金保険料納入前に母子世帯となった人に、全額国の負担により支給される年金をいいます。

しかし、年金を受けうる権利のある人すべてに支給されるものではなく、いろいろの制限があって受けられない人が多くありましたが、今年の三月年金法の一部が改正され支給制限などが大幅に緩和されました。

特に七十歳を過ぎた人で、今まで所得制限のため年金を受けられなかった人でも年金を受けられる見込みがありますから、心あたりのかたは至急請求手続きをしてください。

なお、改正された主な点は次のとおりです。

年金額の引き上げ

昭和四十六年十一月から年金額を次のとおり引き上げ。

㊀老齢福祉年金＝二万七千六百円（月額二千三百円）㊁障害福祉年金＝二万四百円（月額三千一百円）㊂母子福祉年金＝二万四千八百円（月額二千九百円）

所得制限限度額の緩和

（四十六年五月から）

㊀本人所得限度額が三十二万円から三十五万円に引き上げ㊁配偶者扶養控務者の所得限度額（別表）……所得とは、収入額からその収入を得るに必要な経費（給与所得の場合は給与所得控除）を控除した後の額をいいます。

一般公的年金との併給（厚生年金、共済組合年金など）

今までは二万四千円以上の公的年金を受けている場合は、福祉年金は全額停止されましたが、今年の十一月から福祉年金の一部が改正されて、二万四千円（月額二千円）以上の年金を受けている場合は、福祉年金の差額が支給されます。

戦争公務による扶助料遺族年金の併給限度の緩和

戦争公務による年金と福祉年金との併給の場合は、一定の限度額（九月までは十七万七百円）により福祉年金が一部支給停止されていましたが、十月から準士官以上は全額支給、また、二つ以上の戦争公務による年金を受けている人は、福祉年金については全額支給されていますが、この十月から全額支給されます。

以上が主な改正点ですが、これらの請求手続きには「印鑑、公的年金を受けている人はその年金証書、戸籍（本籍）、住民票の手数料二百円くらい」が必要です。

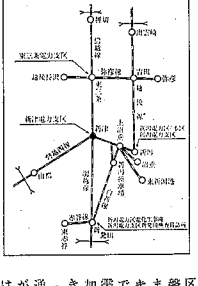
また、このほかの年金についてやく不足の点は、処理方法などは、遠慮なく市役所民生課の年金係へおたずねください。

45年分の限度額	46年分の限度額	扶養親族の数
610,450円	881,500円	0人
763,375	1,059,000	1
851,725	1,174,000	2
943,200	1,289,000	3
1,036,300	1,404,000	4
1,129,400	1,519,000	5
1,222,500	1,634,000	6

市内官公庁へごあんない

新津電力支区

新潟電力区担当区域図


新潟
沼垂
白山
新潟港
東港東部支区
臨海作業所
古川
弁天
新津電力支区
新津
上所
新潟電力支区
新潟電力支区
新潟電力支区